

一般社団法人 日本陶道会

平成 30 年度事業計画書

平成 30 年度重点施策

昨年度は会員の増強を念頭に置いて運営の若返りを図るため、推進会議においてブレインストーミングを導入し、また、若手懇談会を開催し、若手会員の具体的意見を聴取する等の新たな試みを実施した。しかし、重点に置いた会員の増強及び財政の健全化は残念ながら未達のまま終わった。

今年度も引き続き会員と運営の若返りを推進してゆくべきと考えており、そのための新たな体制作りを第一の重点として進めたい。しかし社団法人としての公益のための事業は引き続き継続しなければならないので、新たな体制へ向けての過渡期として、新旧取り混ぜた事業を実施しつつ、懸案の解決を図ることとしたい。重点施策は以下の 4 点である。

第一は現代の社会と家庭の安定に役立つ陶宮を、より広く社会に発信することができるよう、本会の運営体制の若返りを進め、広報・普及活動の活性化を図り、それによって会員の増強を推進していきたい。

第二は会員のための教化活動の更なる充実である。具体的には、地域ごとの陶席活動を推進するとともに、合同陶話会や本部陶席などにより地域間の相互交流の機会の充実を図る。また従来から進めてきた修行の各段階に応じた研修の充実により、若手会員および次世代指導者の育成も継続して進める。

第三は昨年度と全く同じであるが、財政の健全化である。本年度も継続して会員の増強による会費収入の増加を図るとともに、経費の節減に努めて収支の均衡を図りたい。会員各位のご理解とご支援・ご協力をお願いする。

第四の課題は、昨年度から重点に取り上げた本会の資産である教化資料の整備である。内容としては二つあり、第 1 は古典資料の整備で、陶歌集の電子化は完成に近いが、既刊陶道誌（および陶之友）の欠本整理と総目次の整備はこれからの課題である。第 2 は古典資料の現代化で、昨年度から作業を進めている現代版「阿気の顕支」の作成を完成させるとともに、「続青年陶宮」などの現代版作成の検討を進める。これらについては特に若手会員の一層の協力を期待している。

//

1. 平成30年度本部主催行事計画

- (1) 第7回定時社員総会・創立記念行事開催 5月27日(日)
- (2) 定例理事会 年間6回 4月 5月、7月、9月、12月、30年3月
- (4) 理事懇談会 年間4回 6月、10月、11月、31年2月
- (5) 総務会 年間1回 5月の他、必要に応じて開催する
- (6) 合同部会 年間1回 4月21日(土)
- (6) 推進会議 在京地区、関西地域部会に分けて年間1回開催
- (7) ホームページ委員会：メール会議を月に1回以上開催、
- (8) 会員表彰 10月4日(木)に名誉会員表彰を実施。
- (9) 紅葉狩り淘席(於、大阪)11月24日(土)に開催

【各部および部会の平成30年度事業計画】

1. 総務部・経理部・事務局

- (1) 一般社団法人として公益支出計画を確実に実行する。
- (2) ホームページの更新と充実をスピーディーに行う。
- (3) 一般社会人向けの広報活動に積極的に取り組んでいく。
- (4) 事業収入の収益アップ及び経費の節減を強力に行う。
- (5) 収益事業として駐車場の賃貸事業を行う。
- (6) 会員の退会防止と育成を強力に推進する。
- (7) 若手会員の意見集約を行い理事会に意見具申する。
- (8) 本部淘話会を毎月第一土曜日の午前11時から開催する。

2. 教化部

1. 勉強会

- (1) 4月～7月の第一土曜日に「心図」についての勉強会を実施。
- (2) 淘祖言行録を読む会を毎月実施
- (3) 「淘語いろいろ みんなで話そう」を毎月実施
(担当：小晌会、春秋会、吉川会、教化部の持ち回り)
- (4) 中免向けに観相勉強会を実施する。

2. 合同淘話会

- (1) 淘祖生誕記念淘話会 4月21日(土) 開催
- (2) 秋季合同淘話会 10月4日(木) 開催

3. 行事

- (1) 淘宮発表記念講演会 平成31年2月24日頃の土日に開催予定

(教化部続き)

4. 普及活動

- (1) 淘道セミナー 年4回以上随時開催(希望者が有った場合)

5. その他の活動

- (1) 淘暦、加年見、淘宮手帳等の作成
- (2) 会長会・理事会と合同で実施 9月22日(土)
- (3) DB小委員会をスタートし、教化資料(淘書・掛け軸)及び淘歌の電子化・DB化を促進し検索環境を整備する。

3. 事業部

行事計画

- (1) 5月27日(日)第7回定時社員総会開催日に創立記念行事を開催する。
- (2) 10月4日(木)淘祖彰徳祭法要(於.蓮光寺)を実施する。
- (3) H31年1月12日(土)新年懇親会を実施予定。

4. 編集部

淘道誌について

1. 淘道誌の刊行について編集部の総力を挙げて取り組む。
2. 「淘道誌」の発行については、隔月発行とし、編集会議を奇数月は2回、偶数月は1回開催し、年間18回開催する。
3. 会員に喜ばれる淘道誌の制作を目指し年2-3回カラー写真を掲載する。

5. 広報部

1. 淘道誌のバックナンバー・索引・目次の整理を行い、作成を行う。
2. 一般広報誌の発刊について早期の発刊を目指す。

6. 青年部

1. 若手会員(入門3年以内)の育成・定着を目的として毎月1回第一土曜日に青年部端伝会『淘友巻頭言集』による勉強会、淘席を実施する。
2. 入門したての新入会員のための初期研修も兼ねるものとする。
3. 淘道会各部、各部会の行事を積極的に支援する。
4. 青年部幹部会を開催する。
5. 「四木クラブ」の副タイトルを早期に決定し、一般社会人の方々と会員の交流・勉強を目的とする。
また、淘道と一般社会との接点としての機能を果たすために毎月開催する。

